

学校名	佐賀市立富士中学校
------------	------------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・各項目において、具体的な取り組みがしっかり計画され、評価も十分なされている。具体的な取り組みがはつきりしている。(学校運営協議会より) ・授業に関する共通理解は浸透し、生徒からの評価も高い。今後はより個に応じたきめ細かな指導、授業づくりを通しての学力向上を図る。 ・生徒指導について、生徒の変化に気づき、細やかな対応ができてきた。今後は報告・連絡・相談をさらに密にして、早期発見・早期対応に努める。 ・コロナ禍で活動が縮小されたが、富士校ならではの「一貫校の形を模倣し、学校運営協議会の助言を得ながら地域と連携した学校作りを目指す。
--------------------------	--

2 学校教育目標	<p>地域を担う夢に向かって伸びゆく富士っ子の育成</p> <p>①一人ひとりに基礎学力を身に付けさせ、思考力・判断力を高める。</p> <p>②「ひと・もの・こと」との関わりを通して、自他の命を大切に、郷土を愛する心豊かな生徒を育てる。</p> <p>③心身ともに健やかでたくましい生徒を育てる。地域を担う夢に向かって伸びゆく富士っ子の育成</p>
-----------------	--

3 本年度の重点目標	<p>①「五感教育」の推進—わかる授業づくりと家庭学習への取り組み</p> <p>②「生徒理解」・「不登校対策」の推進—生徒を中心に据えた心の絆&居場所づくり</p> <p>③3連携「小中連携・家庭連携・地域連携」の推進—コミュニティ・スクールとしての絆づくり</p> <p>④教職員の資質向上と働き方改革を受けての取組の充実</p>
-------------------	---

4 重点取組内容・成果指標

(1) 共通評価項目

評価項目	重点取組		具体的取組
	取組内容	成果指標 (数値目標)	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師85%以上	・「めあて・まとめ・振り返り」の継続した記録 ・朝読書を活用した一人年間70冊以上の読書の推進
	○わかる授業づくりと家庭学習の定着・充実	○授業が「分かりやすい」の生徒回答率が90%以上、自主学習ノートの全員提出及び月曜テストの合格率85%以上	・基礎・基本の定着の徹底 ・分析に基づく弱点の解消推進に向けた身に付ける資質能力の焦点化 ・「家庭学習の手引き」活用の徹底
	○校内研究の充実	○研究テーマに沿った研究発表会での授業公開	・授業の流れとワークシートの共有、授業作りにおけるサポートチームの協力等、実践的で協働的な体制の構築 ・ひとり一回の校内における授業公開の実践
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学校が「安心・楽しい」の生徒回答率が95%以上 ○ボランティア活動等の生徒会活動の活性化による参加率の前年度アップ	・QUを活用した受容的な学級集団作り ・パワーアッププラン等を活用した主体的な生徒会活動の促進 ・ボランティア活動等の生徒会活動の活性化 ・職員全員で取り組む道徳授業の推進
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、サポート相談員の状況に応じた活用と連携した相談体制の充実	・職員全員で取り組む道徳授業の推進 ・定期的な生活アンケートを通じて的確な状況把握と即時対応 ・定期的な連絡会での情報共有と組織的な取組の推進
	◎志を高める教育	○「富士町が好き」、「富士町を自慢できる」の生徒回答率100%	・地域の教育資源、人材を積極的に活用した体験活動を通じた「五感教育」の推進 ・ゲストティーチャー招聘によりふるさと富士を大事にする生徒の育成
●健康・体づくり	●「運動習慣の改善や定着化」 ●「望ましい生活習慣の形成」 ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒80%以上 ○全員部活動(含社会体育・文化部)に所属、放課後等の活動の適切な促進 ●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒100%	・「早寝、早起き、朝ごはん運動」を家庭・地域と共に推進し、高い朝食喫食率を維持 ・週2回の部活動休みの設定と健康維持管理能力の向上の促進 ・保健だより、給食だよりの定期発行による意識の啓発推進
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日(毎週水曜日)実施の徹底 ・行事、指導の各手引きの次年度を見通した活用の徹底
	○時間を意識した仕事の効率化	○学校評価職員アンケートにおいて、「サーバー内のデータを分かりやすく整理保存した」と回答する職員の割合85%以上	・次年度の業務改善を視野に入れた、データや作成した資料等の整理保存の徹底 ・分かりやすく整理保存し、各業務にかかる時間の短縮

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目

評価項目	重点取組		具体的取組
	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	
○小中連携	○9年間の学びをつなぐ小中一貫教育の研究推進	○小中学部の全教職員による相互授業参観及び授業研究会(年5回)	・小学部教員との協働による乗り入れ授業、交流活動、授業参観の計画的な実施 ・小中合同協議会の内容の充実、効果的な合同研修会の計画実施
○コミュニティスクール	○学校運営委員会の充実	○保護者及び学校運営協議会委員の学校情報メール加入率100% ○学校HPを活用するようになったという保護者の割合90%以上	・学校便り、HP、学校情報メールの活用及び学校運営協議会を核とした連携の強化 ・保護者、地域への積極的な情報発信・受信の推進

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育